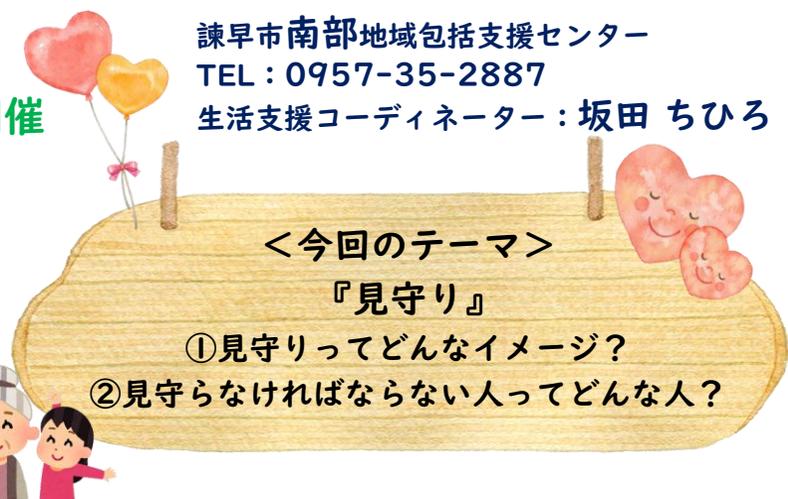


令和7年度 第13回 森山地区語らん場

令和7年8月29日開催

諫早市南部地域包括支援センター
TEL: 0957-35-2887
生活支援コーディネーター: 坂田 ちひろ

森山地区の自治会長、民生委員をはじめ様々な団体で地域活動に携わる皆さんや地域に根づく介護保険事業所の方など計33名に参加いただき、森山地区語らん場を開催しましたので報告いたします。



今回は、森山保健センターの地区担当保健師さんによる森山町の健康状態についてのお話やデイサービス富士山さんより事業所における見守りについてのお話もして頂きました。



住民の声

- まずは、地域の人や近所の人と仲良くするのが一番！
- 自分は立場上、地域を見守る側だと思っていた。数日、車がないと周囲の人から心配されることもあり、自分の周りから見守られてるんだと思った。必要だから見守るのではなく「お互いさま」「これまでの関係性・繋がり」を大切に森山の人みんなで森山を見守っていききたい！
- 白塔地区のサロンを復活させて、地域の人が集まれる場所を作りたい！そしたら新たなつながりも増えてサロンが見守りの役割にもなると思う！
- 子どもたちの登下校の見守りも続けていきたい！「元気？」など声をかけるきっかけにもなり、お互いが顔見知りになるいい機会となる。



SCより

今回は、「見守り」をテーマに語らん場を開催しました。「見守り」というと難しく考えがちですが、森山地域の皆さんからは普段の生活の中での繋がりや会話の中での見守り意識が必要との声が上がりました。『見守り』は地域で暮らしていく中で切っても切れないテーマです。今回、地区ごとのネットワークが必要ではないか、それを活用して高齢者や子供の見守りにつながるといいなどのお声もあがりましたので、今後につなげていきたいと思ひます。

